九州地方

名前

問1　九州地方の阿蘇山などに代表される、火山の大規模な噴火によって形成された、大きなくぼ地状の地形を何といいますか。（2022年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 扇状地
2. 三角州
3. カルデラ
4. シラス台地

問2　福岡県における1970年から2010年にかけての工業構造の変化について、鉄鋼や石油などの「基礎素材製品」の動向を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。なお、この期間に福岡県の工業製品出荷額の合計は約1兆8600億円から約8兆2000億円へと大幅に増加しています。（2019年 神奈川県公立入試 類似）

1. 基礎素材製品の出荷額そのものが大幅に減少したため、工業製品出荷額の全体合計も1970年を下回る結果となった。
2. 工業製品出荷額の全体合計が増加したことに伴い、基礎素材製品が全体に占める割合も1970年と比較して上昇した。
3. 工業製品出荷額の全体合計が減少したため、基礎素材製品の出荷額は増えたものの全体に占める割合は低下した。
4. 工業製品出荷額の全体合計は増加しているが、基礎素材製品が全体に占める割合は1970年と比較して低下した。

問3　九州地方には阿蘇山や桜島といった火山が数多く存在します。これらの火山の地下にあるマグマの熱を利用し、発生した蒸気によってタービンを回して発電する方式の名称として正しいものを選択してください。（2016年 岡山県公立入試 類似）

1. 風力発電
2. 火力発電
3. 地熱発電
4. 水力発電

問4　北九州工業地域の工業出荷額を産業別に見た際、機械工業や金属工業とともに主要な割合を占める産業があります。この産業の工場が、福岡県北九州周辺の沿岸部に集中して分布している主な理由として、最も適切なものはどれですか。（2020年 静岡県公立入試 類似）

1. 内陸部と比較して地価が高く、企業としてのブランドイメージが高まるため
2. 製品の鮮度を保つ必要があり、消費地である都市部に隣接しているため
3. 海外から輸入する原料の搬入や、完成した製品の船舶輸送に便利なため
4. 原料となる農産物を、近隣の平野部から短時間で集荷できるため

問5　世界最大級のカルデラを持つ阿蘇山が位置する県について、統計資料において第1次産業の就業者割合が約10パーセントと比較的高く、人口密度が1平方キロメートルあたり約240人である場合、この県の名前として正しいものはどれですか。（2019年 愛知県公立入試 類似）

1. 宮崎県
2. 鹿児島県
3. 熊本県
4. 長崎県

問6　九州地方の平野とその特徴に関する記述として、最も適切なものはどれか。（2023年 青森県公立入試 類似）

1. 筑紫平野は、九州北部に位置し、広大な水田が広がる稲作地帯である。
2. 宮崎平野は、九州北部に位置し、筑後川の水を利用した米作りが盛んである。
3. 熊本平野は、九州南部に位置し、冬の温暖な気候を利用した野菜の促成栽培が盛んである。
4. 筑紫平野は、九州南部に位置し、シラス台地でのサツマイモ栽培が中心である。

問7　宮崎県の産業構造や農業の特徴について述べた文として、統計的な背景から判断して最も適切なものはどれですか。（2023年 沖縄県公立入試 類似）

1. 温暖な気候や広大な土地を背景に、農業産出額の半分以上を畜産業が占めており、製造業よりも第1次産業の比重が相対的に高い。
2. 亜熱帯の気候条件を活かし、サトウキビやマンゴーなどの商品作物の栽培と、冬の温かさを利用した観光業に特化している。
3. 瀬戸内工業地域の一角を担っており、化学工業や機械工業などの製造品出荷額が、農業産出額を大幅に上回っている。
4. 急峻な傾斜地を利用した段々畑において、みかんやいよかんなどの果樹栽培が盛んで、農業産出額の大部分を占めている。

問8　九州地方の宮崎県から鹿児島県にかけての南部一帯に広がる、過去の巨大な噴火によって噴出した火山灰などが積み重なって形成された台地を何と呼びますか。（2018年 岩手県公立入試 類似）

1. 武蔵野台地
2. シラス台地
3. 根釧台地
4. 牧ノ原

問9　九州地方の阿蘇山などで見られる、火山の噴火によって地下のマグマが噴出した後、山頂部が陥没するなどして形成された大規模な凹地を何といいますか。（2019年 愛知県公立入試 類似）

1. カルデラ
2. シラス台地
3. 楯状火山
4. リアス海岸

問10　日本の諸地域の気候を比較したとき、那覇市の平均気温や降水量の特色について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2024年 栃木県公立入試 類似）

1. 年間を通じて気温が高く、1月と7月の平均気温の差は、内陸に位置する松本市などの都市と比べて小さい。
2. 年間の平均気温は福岡市などの九州地方の都市よりも低くなるが、梅雨や台風の影響で年間の降水量は非常に多い。
3. 夏と冬の気温差が非常に大きく、札幌市などの北日本の都市と同様に、冬の降水量が1年の中で最も多くなる。
4. 亜熱帯に近い気候のため、年間の降水量は日本で最も少ない部類に入る高松市よりも、すべての月において下回ることはない。

問11　九州地方の各県を比較した統計において、温泉の源泉数は184と比較的少ないものの、小麦の収穫量が51,800トンに達し、全国でも有数の生産量を誇っている県はどこですか。（2019年 徳島県公立入試 類似）

1. 沖縄県
2. 愛知県
3. 大分県
4. 佐賀県

問12　九州地方の農業において、鹿児島県や宮崎県を含む南九州で特に生産が盛んであり、統計上も九州地方全体の農業産出額の約4分の1を占める主要な部門はどれですか。（2018年 福岡県公立入試 類似）

1. 工芸作物
2. 畜産
3. 米
4. 果実

問13　大分県の北部において、冬の時期に降水量（降雪）が多くなる傾向がある理由を、地形と風の観点から説明したものとして適切なものはどれか。（2020年 熊本県公立入試 類似）

1. 北からの湿った季節風が、県の中央部を東西に走るなだらかな山地にぶつかり、上昇気流が発生して雲が発達するため。
2. 四国山地を越えてきた湿った季節風が、県の中央部にある盆地状の地形に停滞し、冬の低温によって雪へと変化するため。
3. 日本海側から吹き込む乾燥した季節風が、県の中央部にある高い山地を越える際に、瀬戸内海からの水蒸気を吸収して雨を降らせるため。
4. 太平洋から吹く温暖な季節風が、南部から北上する際になだらかな山地を越え、その過程で冷却されて北部に雪をもたらすため。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 カルデラ	火山の噴火によって地下のマグマが噴き出し、その後に地表が陥没したり、浸食を受けたりすることで、円形に近い巨大なくぼ地が形成されます。阿蘇山はこのカルデラの中に集落や田畑、鉄道が広がっている世界的にも珍しい地域です。選択肢にあるシラス台地は火山灰が堆積してできた台地であり、地形の形状や成り立ちが異なります。
問2	答え 4 工業製品出荷額の全体合計は増加しているが、基礎素材製品が全体に占める割合は1970年と比較して低下した。	福岡県では、かつて官営八幡製鉄所を中心に鉄鋼などの基礎素材型工業が発展してきましたが、1970年代以降は自動車などの加工組立型工業の進出が顕著になりました。統計上、県全体の工業製品出荷額は1970年の約1.8兆円から2010年には約8.2兆円へと約4倍以上に拡大していますが、その内訳を見ると、鉄鋼や石油などの基礎素材製品が占める「割合」は相対的に減少しており、産業構造が変化したことを示しています。
問3	答え 3 地熱発電	日本は環太平洋造山帯に位置するため、九州地方をはじめ全国に火山が多く分布しています。地熱発電は、火山の熱源に近い場所で地下水を蒸気に変え、その力で発電機を回す仕組みです。二酸化炭素の排出がほとんどない再生可能エネルギーとして、火山大国である日本の特性を活かした発電方法です。
問4	答え 3 海外から輸入する原料の搬入や、完成した製品の船舶輸送に便利なため	北九州工業地域の化学工業は、石油や天然ガスなどの原料を海外から大型船で輸入し、大規模な設備で加工した製品を国内外へ輸送する形態をとっています。そのため、物流コストを抑えることができる港湾に近い沿岸部が立地として極めて有利になります。かつて官営八幡製鉄所を中心に金属工業が発展した際も、同様の理由で沿岸部が選ばれ、現在の化学工業の集積にもつながっています。
問5	答え 3 熊本県	阿蘇山は熊本県に位置しています。熊本県は豊かな湧水や阿蘇の広大な景観を活かした農業が盛んであり、第1次産業の就業者割合が全国平均よりも高い傾向にあります。鹿児島県にはシラス台地、長崎県にはリアス海岸といった特徴的な地形がありますが、阿蘇山のカルデラがあるのは熊本県です。
問6	答え 1 筑紫平野は、九州北部に位置し、広大な水田が広がる稲作地帯である。	筑紫平野は九州北部に位置し、稲作が盛んな地域です。宮崎平野は九州南東部に位置し、野菜の促成栽培で知られています。熊本平野は九州中部に位置し、い草やトマトなどの栽培が行われています。シラス台地は九州南部に広がる火山灰性の台地です。
問7	答え 1 温暖な気候や広大な土地を背景に、農業産出額の半分以上を畜産業が占めており、製造業よりも第1次産業の比重が相対的に高い。	宮崎県は九州南部に位置し、黒潮の影響を受けた温暖な気候に恵まれています。この気候を活かした促成栽培のほか、広大な土地での肉用牛や豚、鶏の飼育といった畜産業が極めて盛んです。宮崎県の農業産出額の構成を見ると、畜産が圧倒的な割合を占めている点が、工業化が進んだ岡山県や果樹農業に特化した愛媛県、亜熱帯農業が中心の沖縄県との決定的な違いです。
問8	答え 2 シラス台地	九州南部に分布するこの台地は、火山の噴出物が厚く堆積してできました。粒子の細かい火山灰層は水はけが非常に良すぎるため、古くから稲作には向かない土地とされてきました。そのため、サツマイモや茶などの畑作、あるいは肉用牛や豚などの畜産業が盛んに行われています。
問9	答え 1 カルデラ	阿蘇山に代表されるこの地形は、大規模な噴火の際に噴火口周辺が陥没することで生まれます。阿蘇山のカルデラは世界最大級の規模を誇り、その内部には多くの人々が住み、鉄道や国道も通っています。シラス台地は火山灰が堆積してできた地形であり、リアス海岸は沈水海岸の一種であるため、形成過程が異なります。
問10	答え 1 年間を通じて気温が高く、１月と７月の平均気温の差は、内陸に位置する松本市などの都市と比べて小さい。	那覇市は低緯度に位置し、周囲を海に囲まれた海洋性の気候であるため、年間を通じて平均気温が高く、夏と冬の気温差（年較差）が小さいのが特徴です。これに対し、内陸にある松本市などは放射冷却などの影響で冬の冷え込みが厳しく、気温の年較差が大きくなります。また、那覇市は梅雨や台風の影響で降水量は多い傾向にありますが、時期や年によっては他の都市よりも少なくなることもあり、常に他の都市を上回るわけではありません。
問11	答え 4 佐賀県	九州地方では、広大な平野部を利用した農業が盛んです。特に佐賀県（佐賀平野）では、夏の米作の後に冬から春にかけて小麦を育てる「二毛作（水田裏作）」が行われており、小麦の収穫量が非常に多いのが特徴です。温泉の源泉数が多い大分県など、他の県の特徴と混同しないよう注意が必要です。
問12	答え 2 畜産	鹿児島県や宮崎県を中心とした南九州は、シラス台地と呼ばれる火山噴出物による台地が広がっており、水持ちが悪く稲作に不向きな土地が多く存在しました。そのため、古くから畑作とともに肉用牛、豚、鶏などの飼育を行う農業が発展し、現在では日本有数の生産地となっています。
問13	答え 1 北からの湿った季節風が、県の中央部を東西に走るなだらかな山地にぶつかり、上昇気流が発生して雲が発達するため。	冬の季節風は、日本海や関門海峡付近を通過する際に湿り気を帯びます。大分県の中央部には東西になだらかな山地が存在するため、この北寄りの季節風が山地の北側に吹き付けることで上昇気流が起こり、雪や雨を降らせる原因となります。この仕組みは日本海側の気候メカニズムと似ていますが、大分県特有の東西にのびる山地の配置が大きな役割を果たしています。